

教育目標: つよい子・考える子・助け合う子

杉並区立大宮小学校



大宮小

HP URL: <http://www.suginami-school.ed.jp/oomiyashou/>

題字「大宮豊」(おおみやこう) 勝海舟

新しい大宮小

副校長 矢藤健男

5月を迎えました。現在、東京都には緊急事態宣言が発令されています。引き続き予断を許さない社会状況が続いています。昨年の5月を思い出すと、同じように緊急事態宣言が発令中でした。この1年、学校は臨時休業、分散登校、授業時数確保、3蜜の回避、学校行事の見直し、感染防止対策などの課題に対応するため、様々なことを考え、実行してきました。日々の健康観察など保護者の皆様のご理解やご協力あつての今の学校生活があると感じています。

昨年度から、コロナウイルス対策で大きな変化があつたのが、「Teams」というWeb会議システムが学校に導入されたことです。このシステムを使って、校長室やパソコン室から各教室に配信する「オンライン朝会」「セーフティ教室」「6年生を送る会」などを行うことができました。

先日は「1年生を迎える会」をオンラインで実施しました。1年生にとって、小学校生活に希望をもつ大切な行事です。代表委員の司会で始まり、2年生が2-1の教室から、グループごとに大宮小の学校生活の紹介を順番にしていきました。2年生らしい、元気な発表で、自分たちより下級生ができた実感できるよい体験となりました。校歌斉唱は歌詞入りの音楽が流れる中、口ずさむ形で行いました。昨年1年間、校歌を歌う機会がなかったので久しぶりの校歌に校内が明るくなり歌の力を感じました。この後には、6年生が先導して、2~5年生の教室の前の廊下をいっしょに歩いて巡りました。これを「ありがとうパレード」と名付けました。「大宮大宮ぐんぐんぐん」の音楽が流れる下、教室の中から拍手をしたり互いに手を振ったりして「顔を合わせる」交流もできました。

距離を保ちながら、できることを模索して、自分たちも楽しみながら、学校のみんが参加できる活動となりました。制限が多い中でも子供たちや教員が知恵を出し合ったら、学校生活は楽しくなっていくのだなということはこの活動を通して、子供たちも実感できたのではないのでしょうか。

今後も6年生が最上級生として学校の中心となり、子供たち自身が学校のことを考え、活躍できる場を多くもてるようにしていきたいと考えます。これから、学校をよりよくするために子供たちから発信される言葉や活動を楽しみにしています。そのような姿が、下学年へ受け継がれ、伝統ある大宮小の歴史になっていくことでしょう。教員一同で子供たちのファシリテーターとなり寄り添って参ります。

これからも令和3年度の学習活動や行事が行われていきます。大宮小では、杉並区立学校感染症対策と学校運営に関するガイドライン等に則り、感染防止に努めながら学習活動を工夫していきます。皆様のご理解とご協力も重ねてお願い申し上げます。

5月の生活目標 **友達と仲良く助け合って生活しよう**

新学期が始まって1ヶ月が過ぎ、新しいクラスにもようやく慣れてきたことと思います。さらに楽しく過ごせるように、友達と気持ちのよい挨拶を交わしたり、係や当番活動を協力して取り組んだりし、思いやりの気持ちをもって助け合いながらより良い生活にいきましょう。